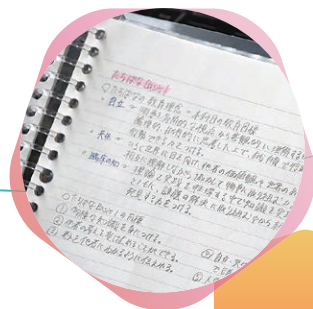




/// 実りある未来につながる全学共通の学び ///

京都橘大学

共通教育

2026



学びを楽しみ、わたしを広げる。

共通教育って、なぜ大切？どんな学びが得られるの？

社会、就業構造が大きく転換し、予測不可能な時代。

そんな時代に必要なのは、複雑な社会を捉え、他者と関わり、自分の世界を広げる力です。

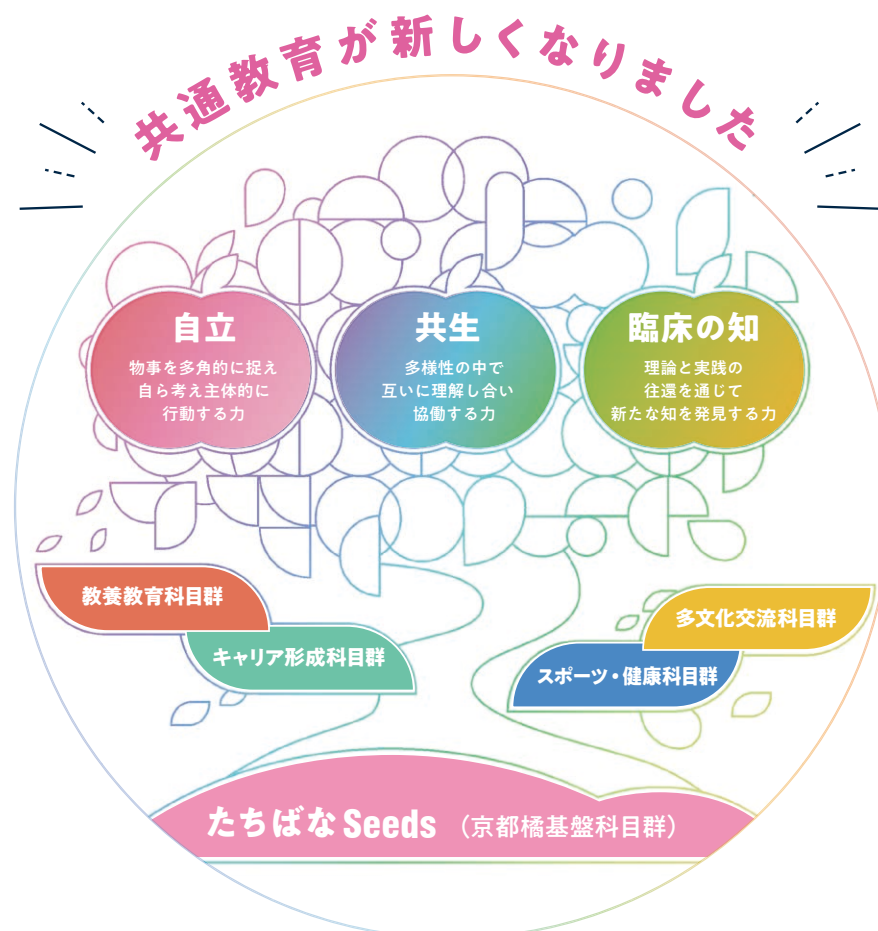
自らの人生を切り拓くために〈自立〉・〈共生〉・〈臨床の知〉に対応した力を身につけます。

共通教育の学びはきっとあなたの知的好奇心をおおいに刺激してくれるはず。

さあ、扉を開いて、学びの世界に踏み出しましょう！



教学理念に基づいた
たちばなで育む
3つの力



自立

物事を多角的に捉え
自ら考え主体的に行動する力

物事を多角的な視点から客観的に理解するとともに、論理的・批判的に思考したうえで、自分自身で判断して主体的に行動することのできる能力を身につける。



共生

多様性の中で
互いに理解し合い協働する力

ひろく世界に目を向け、他者の価値観や世界のあり方を尊重しつつ、相互に理解しながら協力して物事に取り組む能力を身につける。



臨床の知

理論と実践の往還を通じて
新たな知を発見する力

理論と実践を往還する中で知識を実践的に理解するとともに、課題の解決に取り組む中から新たな知を発見する能力を身につける。

01

たちばなSeeds

(京都橘基盤科目群)

教学理念である〈自立〉・〈共生〉・〈臨床の知〉を身につける基盤を学びます。

主な開講科目

- たちばな Basis I・II
- IT リテラシー
- プレゼンテーションスキル
- ライティング基礎
- シンキングスキル

など

詳細は P.04 へ

02

教養教育科目群

社会を多角的・客観的に捉え、人生の指針となる知性や価値観を身につけます。

主な開講科目

- 異文化コミュニケーション論
- 日本の伝統的建築と庭園
- 社会を考える
- 歴史学概論
- AI 概論
- 国際関係入門
- 人間を考える

など

詳細は P.06 へ

03

多文化交流科目群

言語と多文化交流を、相互理解とコミュニケーションを通して実践的に学びます。

主な開講科目

- 英語 I AB ～英語 IV AB
- 異文化交流演習 I・II
- 外国語臨地演習 I・II
- フランス語入門 I・II
- 韓国語会話 I・II

など

詳細は P.07 へ

04

キャリア形成科目群

未来構想力と越境力を向上させ、未来を創造する自律型キャリアを目指します。

主な開講科目

- キャリア開発演習 I～V
- 就業体験準備実習
- 就業体験実習 I・II
- クロスオーバー型課題解決プロジェクト
- 海外就業体験実習 I・II

など

詳細は P.08 へ

05

スポーツ・健康科目群

スポーツや体のメカニズムの理解を通じて心身の健康を学びます。

主な開講科目

- 健康と運動の科学
- ストレス科学概説
- 健康に生きる
- スポーツコース I・II

詳細は P.10 へ

京都橘大学 共通教育推進室長
総合心理学部 総合心理学科
坂本 敏郎 先生

学部・学科の壁を越えた学びで 総合知を育み、未来を切り拓こう

入学おめでとう。大学での学びを前にして、みなさんは期待と不安を抱えていることでしょう。大学は、自身の好きなことを好きなだけ学べる自由な場所です。本学では、学部・学科の専門教育に加えて、それらの垣根を越えた全学共通の教育科目を学ぶことができます。今年度から新しくなった共通教育には、教育理念に基づいて、さまざまな学問に触れながら教養や実践力を養成していく多数の科目が用意されています。自身の将来を想像しながら、面白そうなもの、役立ちそうなるものを自由に修得してください。まずは、大学での学びの“楽しみ方・味わい方”を見つけることから始めましょう！

たちばなSeeds

(京都橘基盤科目群)

広がっていく学びに必要な基礎力を身につける科目群です。

「たちばなBasis I・II」を核に、京都橘大学で学ぶ意義を理解し、
考え方・表現方法・ITスキルなどを身につける科目が配置されています。

PICK UP CLASS

ITリテラシー

Officeソフトの活用技能だけでなく、情報社会におけるリスクを防ぐための知識、情報を扱う上でのマナーを身につけます。

プレゼンテーションスキル

わかりやすく説得力のあるプレゼンテーションができるよう、論理構成、資料作成、口頭伝達の仕方を、学生同士がフィードバックし合い、学びます。

ライティング基礎

演習を通して文章を読む力を養成し、添削指導等により、論理的な論説文を書くために必要な文章構成力や推敲する力を伸ばします。

シンキングスキル

主題に関する肯定・否定のチームに分かれての討論(ディベート)を通じて、考えたことを他者に伝え、他者と共に吟味する力を伸ばします。



CROSS × TALK

1回生必修科目

たちばなBasis I・II

その名のとおり、本学で学ぶ“ベース”を身につけるための科目です。人文・社会・自然・医療といった多様な学問を通じて、本学の教育理念である〈自立〉・〈共生〉・〈臨床の知〉を学び、実践します。「たちばなBasis I・II」の魅力や学びについて、2025年度履修生・ラーニングアシスタント(LA)・教員に語り合ってもらいました。

※ 総合心理学部は2027年度より開始予定

履修生×LA×教員の
インタビュー
(ショートバージョン)
YouTube が開きます



STUDENT QUESTION 01

「たちばなBasis I・II」ってどんな科目ですか？

京都橘大学の学びの土台(Basis)となる全学必修科目です。特徴はオンデマンド講義と対面授業の「ハイブリッド形式」であること。授業では京都橘大学の教育理念「自立・共生・臨床の知」を軸に、さまざまなジャンルの学問に触れ、ディスカッションを通して、課題解決のための具体策まで考えます。学部・学科の枠を越えた出会いの中で、多角的な視点やコミュニケーション能力が身につきます。

経営学部 経営学科
2回生
西野 毅朗 先生

STUDENT QUESTION 02

教学理念って難しいそう…なぜ大事なのですか？

京都橘大学が掲げる3つの教学理念は、これからの社会を生きる上で本学の学生にぜひ身につけてほしいと考えている力です。自ら考え、行動する「自立」、多様な人と協力し合う「共生」、学びを現場で活かす「臨床の知」。これらは1年間の授業を通して「相手の話を聴く力」や「一歩踏み出す力」として自然と身につきます。正解のない問いに挑む経験は人生を歩む中で必ず役立つはずですよ。

文学部 日本語日本文学科
2回生
甘水 初姫 さん

工学部 情報工学科
2回生
中野 姫らら さん

STUDENT QUESTION 03

どうして全学部・全学科の1回生が履修するの？

1回生のうちに様々な価値観に触れ、知識の「種(Seeds)」をまくためです。「たちばなBasis I・II」は、学部・学科を越えたクラスだからこそ、多様な人間関係が広がります。様々な価値観に触れる経験が、その後の学びを豊かにしてくれます。また、頼れる先輩(LA)も授業をサポートしてくれるので上回生にも知り合いができます。学内で顔見知りが増えるのはその後の大学生活にとって心強いですよ。

健康科学部 救急救命学科
2回生
徳重 孝介 さん

STUDENT QUESTION 04

専門的な事だけを学べばいいのではないですか？

自分の専門を突き詰めるためには広い視野が必要不可欠です。「たちばなBasis I・II」の講義テーマの中には、自分にとって興味のないものもあるかもしれません。しかし、異なる分野の知識を持つことで、例えば「アニメ研究」と「都市計画」が意外な点で繋がるなど、知識同士が化学反応を起こし、学びがもっと楽しくなる瞬間が必ず生まれます。点と点が繋がり学びが深まる楽しさをぜひ体感してください。

LA(ラーニングアシスタント)
文学部 日本語日本文学科
4回生
堀切 拓真 さん

STUDENT QUESTION 05

たちばなBasis I・IIを受けてどんな点が成長したと感じますか？

相手の話を丁寧に聞く「傾聴力」がただだけでなく、「相づち」や「上手な質問」ができるようになったことで、相手が話しやすい雰囲気を作れるようになったと実感しています。また、実生活では、アルバイトなどで「相手が何を求めているか」を一歩深く考えられるようになったと感じます。人前で話す度胸やチームで課題を解決する力は、ディスカッションを重ねて自信がついた点です。

STUDENT QUESTION 06

授業の中で印象に残っていることは何ですか？

「正解のない楽しさ」に気付けたという点です。授業の中で仲間と会話を重ねるたびに、考えることや発言することが楽しくなります。これまでは○か×かで答えを出していたことも、「△」を答えにしてもいいのかも？という気づきがありました。「自分にはない視点」への驚きや、仲間と協力して「自分たちの考え」を探していくワクワク感は、この授業でしか味わえない貴重な経験です。

教養教育科目群

Q. なぜ教養科目を学ぶのですか？

A ひと言で言えば、視野を広げるためということになるでしょう。たとえば、科学技術の発展は、科学者の知的好奇心によって方向付けられる面もちろんありますが、社会からのニーズによって方向付けられることも少なくありません。それを理解するためには、人のこころや社会の動きを正しく理解する上で不可欠な人文・社会系の知識や考え方を知っておく必要があります。

Q. 先生が学生時代に学んだ教養科目で印象に残っているものを教えてください。

A さまざまな生物が空間の中でどのように姿勢を保持するかをテーマにした生物学の授業が印象に残っています。何かに直接役立ったわけではないのですが、高校の生物では決して使わなかった物理の知識が必要な内容で、さまざまな知識をフル活用して未知のことを明らかにしていくことの面白さを学ぶことができました。

Q. 京都橘大学の教養教育科目群の特徴はなんですか？

A ある学問分野の概要を学ぶ概論型科目だけでなく、例えば「日本の伝統的建築と庭園」など、特定のテーマについて学ぶテーマ型科目、履修生同士でのディスカッションを通じて学ぶゼミ型科目が設定されているのが特徴です。教養教育科目においても専門教育科目に負けない深い学びを得ることができます。



経済学部 経済学科
阪本 崇 先生

教養を身につけること、それは人生を豊かにし、生きる指針を得ること。

海外との距離が縮まる時代。必要なのは文化の理解とコミュニケーション。



文学部 日本語日本文学科 2026年3月卒業
三宅 美風 さん(右)
交換留学生(実践大学・台湾 2025年3月帰国)
陳 筱雯 さん(左)

多文化交流科目群

STUDENT VOICES

Q. 異文化交流演習を履修したきっかけを教えてください。

A 三宅さん／座学だけでなくフィールドワークもあると聞き、寺社仏閣などを巡って留学生と交流を深めるよい機会だと思いました。
A 陳さん／母語で読んだことのある日本の文学作品を、日本人と一緒に読解できる面白い授業だと思いました。

Q. 海外の人たちと交流する楽しさや難しさはありますか？

A 三宅さん／文学作品の読解を通じて価値観の違いに気づいたり、言葉の壁を乗り越えようと創意工夫を重ねたりする楽しさがありました。
A 陳さん／台湾の食べ物を説明する時に、日本にはない食材や味を表現することは難しいですが、日本人の学生が私の説明を理解してくれ、日本にも似た食べ物があることが分かりました。そんな交流がとても楽しいです。

Q. 多文化交流で得た経験は将来、どのように役立つと思いますか？

A 三宅さん／社会に出て多様な背景を持つ人たちと交わる中で、この授業で得た視野の広さやコミュニケーション能力が役立つと思います。
A 陳さん／国際社会の中で、仕事でも様々な国の人と関わらと思うので、この経験をコミュニケーションに生かしていきたいと思っています。

PICK UP CLASS

異文化コミュニケーション論
【概論型】

人間を理解する

自身の持つ「当たり前」や価値観を相対化し、多様な文化が存在する背景を理論と事例から学びます。日常生活やビジネスで直面する文化摩擦の事例を分析・考察することで、異なる背景を持つ他者と対話するための基礎的な力を養います。

日本の伝統的建築と庭園
【テーマ型】

自然科学にふれる

京都および関西一円に多く見られる伝統的建築と庭園を紹介し、なぜそのようなデザインになっているのか、歴史的背景、社会的背景、および自然環境を手がかりとして考えます。環境に優しいデザインを学び、現代に生かす方法を考えます。

社会を考える
【ゼミ型】

社会を生きる

たちばな大路こども園の園児たちとともに、ピオトープ*を作り、園児へ自然や環境問題への興味を持つきっかけを作るとともに、その活動のもたらす社会的効果を推計します。年齢、学科の違いを越えて知の共創を行う少人数授業です。

※生き物たちが自然のままに暮らす「生息場所」

阪本先生からのメッセージ

学ぶ範囲が広がると、覚えることが多くなって大変だと思っている学生が多いのですが、それは勘違いです。知識は、ネットワークが繋がっていくことで、より簡単に身につけることができます。ぜひ、怖れずにいろいろな学びに挑戦してください。

PICK UP CLASS

異文化交流演習I

外国人留学生と共に日本文学や日本文化を学び、多様な文化背景を持つ学生の視点や考え方の違いについて理解を深め、共生力を養います。日本文学にまつわる寺社仏閣など、京都を代表する世界遺産でのフィールドワークも行い、キャンパス内外での実践的な学びを通じ、国際的な視野を広げます。



外国語臨地演習I

長期休暇中に欧米やアジアの協定大学で3週間集中的に語学と文化について学びます。ホームステイや大学寮で多様な人と共に生活することで、語学力と多文化理解を深めます。文化体験プログラムや各都市の見学などもあり、現地ならではの経験を積むことができます。



外国語科目

必修である英語科目ではTOEICや旅行、留学、医療英語など、実践的な英語力修得を目指した目的別クラスで学びを深めます。第二外国語として、韓国語、中国語、フランス語、ドイツ語、スペイン語を選択して入門レベルから学ぶことができ、語学力に加え外国文化への理解も深めることができます。



キャリア形成科目群

激動の社会を生き抜くために

「未来構想力※1」や「越境力※2」を高め、新しい時代に挑む力を養います。

現代社会のさまざまな課題や、自らの変化を楽しみながら、新しい時代に挑むために必要となる能力や態度を身につける科目が配置されています。



就業体験準備実習

1 回生対象



科目概要

複数の企業や自治体などへの訪問実習(フィールドワーク)を通じて、それぞれの職業や職場の役割を理解し、社会を見る目を養います。訪問実習では、見学だけでなくグループワークや実際に働いておられる方との交流などを行います。2回生以降の産学公連携科目につながるキャリア形成の第一歩となる科目です。

2 回生以上対象

就業体験実習Ⅰ

実際に就業体験を行った先輩のインタビュー
YouTube が開きます

科目概要

事業所等での就業体験(5日間以上)と学内での事前・事後学修で、「働くこと」への理解を深め、社会で働く上で求められる能力や姿勢を学びます。主に首都圏の経済同友会加盟企業で就業体験を行う「経済同友会クラス」と、京阪神の企業や自治体で就業体験を行う「一般クラス」の2種類のクラスがあります。

※経済同友会は企業経営者が参加する、日本を代表する経済団体の一つです。



前編



後編

※1 未来構想力

不確実な社会の中で、自分自身や周囲の環境(社会・組織)の未来を構想する力

※2 越境力

多様性の中で自分自身や所属集団の境界を越える力

2 回生以上対象

クロスオーバー型課題解決プロジェクト

クロスオーバー型課題解決プロジェクトの魅力は？
YouTube が開きます



2分でわかるショートバージョン



フルバージョン

STUDENT VOICES

Q.「クロスオーバー型課題解決プロジェクト」の学びの特徴と魅力は何ですか？

- A 王さん／最終発表まで企業の方や先生方から熱心な指導をしていただけた点です。また別の視点からアドバイスや意見をもらえるので、結果を出すまでのプロセスに深みが出ます。
- A 大久保さん／専門科目で学んだ用語や知識を、実践的に使いこなす面白さがあります。また、学部や学年が異なる仲間と混ざり合うことで、一人では生まれない斬新なアイデアに出会えます。
- A 万波さん／プロジェクトに関わる地域の現状や課題について深く知することで、課題を自分事にできる点や、チーム一丸となり、課題解決に向けて本気で挑む熱量がこの授業の魅力です。

Q. 企業の方との関わりの中で印象に残っていることや学びになった事は何ですか？

- A 王さん／アイデアを受けとめていただいたうえで改善点を伝えてもらえたのが印象的でした。また、企業の方から次のステップや発表に向けて期待の言葉をかけてもらったのも嬉しかったです。
- A 大久保さん／発表にあたり、説得力のある資料を作るためにはどうするかなど、内容だけでなく「伝え方」まで社会人の視点からアドバイスをもらい、今後の学生生活においてとてもためになりました。
- A 万波さん／発表後に毎回企業の方からフィードバックをいただけたのがとても良かったです。改善した点なども具体的に褒めてくださり、達成感を得られモチベーションアップにつながりました。

Q.「クロスオーバー型課題解決プロジェクト」を履修して成長した事や自身が変化した事は何ですか？

- A 王さん／チームで1つになって同じ課題に対する解決策を考える中で、文化や言葉の壁を越えて、お互いに信頼し合えたことです。この経験は、自分はどんなことにもでも挑戦できるという自信につながりました。
- A 大久保さん／プロジェクトを達成するためには何を意識すればよいかという点を客観視して考えられるようになりました。仕事をする上で役立つグループワークの進め方も具体的に学べました。
- A 万波さん／コミュニケーション力や、人前で堂々と発表する力、1つの課題に対して粘り強く考え続ける力が身につきました。自分の中の新しい一面にも気づくことができました。



経営学部 経営学科
3回生
王 梓霖 さん

経営学部 経営学科
3回生
大久保 璃澄 さん

経済学部 経済学科
3回生
万波 愛 さん

※すべてのプロジェクトでフィールドワークがあるわけではありません。

2026年度の連携事業所・プロジェクトテーマ

株式会社インディードリクルートテクノロジーズ

マーケティングを実践し、より多くの大学3年生が「リクナビ」を利用するための「改善策」を提案する

日本航空株式会社(株式会社JAL航空みらいラボ)

「コト消費」から「モノ消費」への延長と地域活性化

株式会社エイチ・アイ・エス

若年層にとっての旅行会社(HISの価値)とは

株式会社 西利

京都信用金庫(QUESTION)
日本の伝統食品「お漬物」をより多くの人に親しんでもらえる商品アイデアを提案しよう！

株式会社ADKクリエイティブ・ワン

マーケティング思考とアイデアで、身近な社会課題を解決へ導く

京都生活協同組合

地域や組合員のお役立ちにつながる京都生協の事業に関する考察・提案

株式会社デンソー

データ分析を通じてデンソーで活躍する人材像を明らかにし、新卒採用の新しい戦略を提案する

草津市役所

草津らしさを、かたちにする — フィールドワーク観察とくみあげ)アイデア・プロジェクト —

株式会社良品計画

見つける、話す、気づく — 山科の暮らしを読み解き、「行きたくない理由」を無印良品 京都山科で形にする —

株式会社リクルート・ゼクシィ編集部

マーケティングを実践し、次世代(自分たち世代)のインサイトを捉えた結婚式を提案する

連携先企業からのコメント

日本航空株式会社
経営戦略部
(産学連携担当)
グループ長
遠山 忠輝 さん



仕事は友人や仲の良い人とだけで進められるわけではありません。本科目は初対面の相手とチームを組み、課題解決に向けて意見を交換しながらチームビルディングが経験できる、非常に良い授業でした。自分たちのアイデアを提案するための資料作り、発表方法、費用対効果なども実践的に考えられたと思います。フィールドワークによって新しい視点を得たり、自分たちの考えに自信が持てたりと、学生の皆さんは授業を通してグッと成長したと感じました。

Q. 事業所でどんな就業体験をしましたか？

- A 廣庭さん／第一生命保険株式会社の日比谷本社(東京)で5日間、営業や資産運用の最前線を学びました。前半は上回生と合同のグループワーク、後半は専門講義でした。毎日グループワークとプレゼンテーションを繰り返し、プロの視点からフィードバックをもらう濃厚な日々でした。
- A 田尻さん／不動産の企画開発や仲介を行う会社で、資料作成や接客補助、物件の「内見」への同行など、社員さんと同じ実務を体験しました。最初は事務作業に戸惑いましたが、現場の空気に触れ、座学だけでは得られない「仕事のリアル」を肌で感じることができました。

Q. 就業体験の中で印象に残っていることや学んだことはなんですか？

- A 廣庭さん／「営業は話すのが1割、聞くのが9割」。話し上手が良いと思っていた私には衝撃でした。また、グループワークの発表の際に、インターネットの情報だけで分かった気になっていたのですが、質疑応答で対応ができませんでした。知識や社会のリアルを知る大切さを感じました。
- A 田尻さん／「挑戦の先には成長が成功しかない」。人事部長のこの言葉が、失敗を恐れていた私の背中を押してくれました。目の前の仕事を「ただこなす」だけではなく、自分で工夫して効率化する大切さを社員さんの姿から学ぶことができました。

Q. この授業を履修してから大学生活の過ごし方に変化はありましたか？

- A 廣庭さん／英語が苦手で海外は避けていましたが、日本の保険システムで世界の課題を解決できると知り、視界が一気に広がりました。「グローバルに活躍したい」という明確な目標ができ、今は本気で英語や簿記の資格取得の勉強に取り組んでいます。
- A 田尻さん／「新しい人間関係を築くこと」への苦手意識が薄まりました。実習で自信がついたおかげで、これまで話したことがなかった先輩や先生方に、自分から積極的に課題の相談に行けるようになり、コミュニケーションの輪が広がりました。

経済同友会
クラス

経営学部 経営学科 3回生

廣庭 悠馬 さん

実習先事業所
第一生命保険株式会社



工学部 建築デザイン学科 3回生

田尻 梓紗 さん

実習先事業所
株式会社ジェイ・エス・ビー

一般
クラス

スポーツ・健康科目群

PICK UP
CLASS

健康と運動の科学

現代社会は、科学の発展や近代化により、非常に便利な環境になった反面、運動不足や過度な栄養摂取による生活習慣病が増加し、新たな局面に遭遇しています。運動と健康のつながりを理解し、身体や心に及ぼす効果を科学的視点から考察する力を養います。また健康な生活を送るための運動の実践方法を学び、ライフスタイルに合わせた運動プログラムの提案や実行ができる基礎力を身につけます。

ストレス科学概説

心身の健康やストレスについて理解し、自分や周りの人の健康、疾病予防について主体的に考え、対処できるようになることを目指す科目です。現代社会において、自分や他者のストレスを理解し、適切に対処することは、健康な生活を送るうえで重要な役割をもちます。健康心理学の視点からストレスのメカニズムや、ライフスタイルとストレスの関係などを学び、日常生活で実践できるストレス対処法を身につけることを目指します。

先輩からの 共通教育 履修アドバイス

専門分野以外の科目を履修する
利点は何ですか？



文学部
歴史学科 3年生
渡部 夏央さん

キャリア形成科目群の授業では他学部生とコミュニケーションを取りながら課題を発見、探求する中で、新たな観点や発想を得ることができました。また、グループワークを通じて、自身が周囲に与える影響や周囲から与えられる影響などを学びました。今後の進路や目標を意識することができ、充実した学生生活を送る足掛かりになりました。

成長した点はどこですか？



工学部
情報工学科 4年生
樋口 雅裕さん

「ライティング基礎」では、論理的で正確な文章作成のスキル、レポートや学会論文の作成に必要な相手に伝える文章力が身につきました。「シンキングスキル」では、多角的な視点で物事を分析し、最適な解決策を導き出す思考力が身につきました。これらのスキルは、専門分野の学びや研究活動に大いに役立っています。

どういう目的で
履修する科目を選びましたか？



国際英語学部
国際英語学科 4年生
森 凜さん

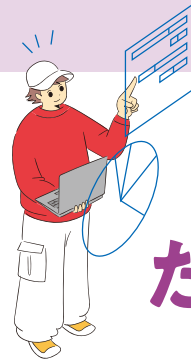
将来的に様々な国や地域の人と関わることができる仕事に就きたいという思いをもって入学しました。ゼミの専攻以外にも幅広い分野の科目を履修し、多角的な視点を身につけることができました。異なる価値観に触れる中で自分自身の考えも深まり、今後の進路を考える上でも広い視野を持てるようになりました。

ウェブサイトが
開きます



京都橘大学の履修の手引きはこちら

「履修の手引き」は、学生が入学から卒業までの間にどのような学習計画を立てるかを決定するために必要な情報をすべて掲載しているものです。「履修の手引き」を熟読し、学習を計画的に進められるようにしてください。



全学生が学べる たちばな AI・データサイエンスプログラム

社会や日常生活にあふれる様々なデータ。

これらのデータを正しく理解し、分析・活用する方法を全学科で学びます。

What's AI・Data Science

Question

データサイエンスを学ぶことはどのようなことに役立ちますか？

A

デジタルリテラシー (ITを使いこなせる能力) やデータサイエンスに関する知識・技能は、文系・理系に関わらずこれからの社会で活躍するために求められている力です。
修了要件を満たした学生には、「たちばな AI・データサイエンスプログラム修了証」を授与します。これは、数理・データサイエンス・AIを体系的に学修した証として、対外的に証明することができるものです。
またレポートや卒業論文、就職活動等で「データを使った経験」を語れるようになります。

Question

たちばな AI・データサイエンスプログラムの学びはどんなものですか？

A

データサイエンスを学ぶことは、単に数字やグラフを扱うことではありません。データをもとに考え、課題を見つけ、解決策を導く力を身につけることです。
本プログラムは、ベーシックレベルとアドバンスレベルの2段階で構成されており、文部科学省の「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」に認定されています。

ベーシック レベル

身につけられる力

AI・データサイエンスの知識・技術の基礎的な能力

修了要件

全学必修科目※「ITリテラシー」「データサイエンス基礎」の2単位修得

※看護学部では「データサイエンス基礎」が必修科目ではありません。本プログラムを修了するには、「データサイエンス基礎」の単位修得が必要になります。



(認定期間：令和10年3月31日まで)

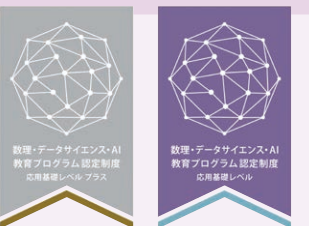
アドバンス レベル

身につけられる力

AI・データサイエンスの知識を深め、自身の専門的な研究活動に活用する能力

修了要件

「ITリテラシー」「データサイエンス基礎」「データサイエンス応用」の4単位修得に加え、アドバンスレベルに配置された科目から2単位以上修得



(認定期間：令和12年3月31日)

「応用基礎レベル+ (プラス)」に認定されている私立大学は全国では4校、関西では京都橘大学のみです。

プログラミングや統計が初めてでも大丈夫。文系・理系を問わず、多くの学生が未経験から履修しています。段階的なカリキュラムと学修支援体制により、安心して学びを進めることができます。



たちばな
AI・データサイエンス
プログラム

支援、フル活用！

ラーニングアシスタント(LA)
工学部情報工学科 4 年生
皆川 陽都 さん



あらゆる側面から
学びをサポート

学習支援

気軽に
利用してね

経営学部 経営学科
多田 泰紘 先生
学習支援専門教員



ラーニング コモンズ

ラーニングコモンズは、学生が自由な発想でアイデアを出しあったり、創造的な学びを実践したりするための施設です。グループ学習やプレゼンテーション練習、情報収集・発信などさまざまな用途に使用することができ、学生の自発的な学習スペースとして活用されています。



SUPPORT 1

ライティング支援

レポートや授業発表資料、研究(卒業)論文などの執筆や修正を、教員やラーニングアシスタント(LA)がサポートします。

SUPPORT 2

ICT 機器・ ソフト活用支援

授業や課題でのパソコンやWord、Excel等ソフトウェアの使い方を教員やラーニングアシスタント(LA)がサポートします。

SUPPORT 3

学習スペースの 貸し出し

友人と一緒に課題に取り組み、プレゼンテーションの練習ができる学習ルームを貸し出ししています。

SUPPORT 4

学習用機器・ 文具の貸し出し

パソコン、延長コード、文房具等、学習に必要な備品を貸し出しています。

SUPPORT 5

図書の貸し出し

文章の書き方や文献の引用方法など、レポート作成などに役立つ図書をコモンズセントラルで貸し出しています。



先輩と後輩がつながり
一緒に学ぶ、成長する

LA

ラーニングアシスタント制度

Learning Assistantとは？

学習支援専門教員による指導の下、学習支援や、コモンズ施設・備品等の管理を行う学生スタッフのことです。



私たちコモンズLAは、皆さんの学習のサポートを行っています。例えば、ExcelやWordなどのOfficeソフトの操作やレポート作成の質問に対応します。PCの使い方やレポート作成に不安があれば何でもご相談ください。また、友達と一緒に使える学習ルームや、どこでもPCを充電できるポータブルバッテリーの貸し出しも行っています。コモンズセントラルでお会いできることを楽しみにしています。



変化を楽しむ人であれ

京都橘大学

〒607-8175 京都市山科区大宅山田町 34
TEL.075-574-4324 (教務課 直通)
E-mail aca@tachibana-u.ac.jp

2026.3